

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書

269P

事業名	【継続】 豊後高田市・島原市兄弟校児童会交流事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
80万0					80万0
事業期間	平成11年度～			総事業費	80万0

【事業目的】

豊後高田市・島原市の兄弟都市の契りを更に深め、両市小学生の活力を生む豊かな児童会交流を継続的に行い、21世紀の郷土を担う青少年の育成を目指します。

【主催】

豊後高田市・豊後高田市教育委員会 島原市・島原市教育委員会

【事業概要】

- (1) 期 間 平成29年8月2日(水)～4日(金)2泊3日
※豊後高田市立小学校登校日 8月3日(木)を中心に交流を行います。
- (2) 活 動
- ① 豊後高田市長表敬訪問
 - ② 各兄弟校・交流校児童交流
 - ③ 豊後高田市内視察

【参加者】

- (1) 児童会代表 各小学校3名
三会小・大三東小4名 計29名
- (2) PTA代表 2名
- (3) 引率者 島原市教育長(団長) 1名
教育委員会(学校教育課) 5名
教職員(校長) 9名
(教諭・養護教諭1名を含む) 10名
計56名

【島原市・豊後高田市兄弟校・交流校一覧】

	島原市	豊後高田市
兄弟校	第一小学校	桂陽(けいよう)小学校
	第二小学校	高田(たかだ)小学校
	第三小学校	河内(かわち)小学校
	第四小学校	戴星(たいせい)学園
	第五小学校	田染(たしづ)小学校
	三会小学校	草地(くさじ)小学校
	三会小学校	呉崎(くれさき)小学校

交流校	大三東小学校	真玉(またま)小学校
	大三東小学校	臼野(うすの)小学校
	高野小学校	三浦(みうら)小学校
	湯江小学校	香々地(かかち)小学校

【成果】2年に1度互いの市を訪問することで、兄弟都市について知ることができ、それぞれの郷土の伝統、風習を知ることができている。また訪問校で全校集会に参加し兄弟校児童との交流が図られています。さらに滞在期間中は、ホームステイをすることになっており、児童同士また保護者間の交流・関係が深まっています。

科目	10 款	1 項	2 目	目名称	事務局費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】 小中学校学力向上対策事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
550万9				550万0	9
事業期間	平成26年度～			総事業費	

【事業目的】

児童生徒の学力の検証軸として、本市独自の学力調査を実施することにより、学力の定着状況を把握・分析し、各学校における取組の充実・改善に役立てます。平成29年度より、中学生の実施対象を中学1年生のみから、2年生まで拡充し、さらなる学力向上を図ります。

また、新学習指導要領では、小学校5・6年生の英語が必修化になることから、中学校での英語の学力調査を実施します。さらに、学習問題の配信を行い、課題の改善に努めます。

学力向上への取組について成果を上げている先進地を視察し、本市の施策の見直しをし、改善を図るとともに、講師を招聘し教職員を対象に教育講演会を実施します。

【事業概要】

学力の定着状況の
把握・指導の改善

指導力の向上

① 本市独自の学力調査の実施

・検証軸として学力調査を設けます。

(1) 対象：小学2・3・4年生、中学1年生

教科：国語、算数（数学）

実施期間：平成29年度1学期

(2) 対象：中学校1・2年生

教科：国語、数学、英語

実施期間：平成29年度3学期

方法：調査問題及び集計等は、外部委託をします。

② 市内小中学校学習問題配信サービス

対象・教科：小学1年～6年生・国語、算数、理科、社会

中学1年～3年生・国語、数学、英語

方 法：問題配信は、外部委託をします。

③ 学力向上に向けた取組の先進地への視察

・秋田県へ2名（指導主事）、小・中教員15名（県費）

④ 教育講演会

・慶應義塾大学から講師を招聘し、教員を対象に講演会を実施。

【成果】

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果

小学校算数Aが、昨年度に引き続き全国平均を超えました。

国語、算数・数学の8項目中7項目が全国平均との差を縮めることができました。

小学校 国語A・算数Bは、全国平均になりました。

(数値は、島原市平均－全国平均)

H27年度 小学校 (国語A-1 国語B-2 算数A±0 算数B-3)

中学校 (国語A-3 国語B-3 数学A-3 数学B-6)

H28年度 小学校 (国語A±0 国語B-1 算数A+2 算数B±0)

中学校 (国語A-2 国語B-3 数学A-2 数学B-5)

縮めたポイント

小学校 (国語A+1 国語B+1)

小学校 (算数A+2 国語B+3)

中学校 (国語A+1 国語B±0)

中学校 (数学A+1 数学B+1)

科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	①本市独自の学力調査 小2・小3・小4・中1 教科 国語・算数（数学） ②学習問題配信サービス 小学1～6年国語・算数・理科・社会 中学1～3年国語・数学・英語			①本市独自の学力調査 小2・小3・小4・中1・中2 教科 国語・算数（数学）・英語 ②学習問題配信サービス 小学1～6年国語・算数・理科・社会 中学1～3年国語・数学・英語		引き続き実施予定

事業名	【継続】 外国語指導助手招致事業					
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)					
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
1,980万3					1,980万3	
事業期間	平成6年度～			総事業費		
【事業目的】 児童生徒が外国語指導助手の協力を得て、言語や文化に対する理解を深めることと、実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことを目的としており、グローバル化した社会で「生き抜く力」を育成します。						
【事業概要】 《配置人数》 4名（全小・中学校対象） 《配置校》 一中、二中、三会中、有明中 《訪問校》 三中、全小学校 中学校4校を配置校（ベース校）とし、中学校については週あたり2～3回、小学校については週あたり1回程度訪問し、中学校英語や小学校外国語活動における学習指導の補助をしています。						
《活動内容》 ①授業における支援 ・教科担任のアシスタントとして授業をサポートします。 ・授業中に児童・生徒に対して、積極的に働きかけ、実践力を身に付けさせます。 ②授業内容の計画作成における連携 ・教科担任等からの要望により、指導案を共に作成し、授業での役割分担を明確にした効果的な指導につなげます。 ③教材研究 ・児童・生徒の実態に即した教材を作成します。						
【成果】 ①全小・中学校を訪問し、授業で活用しています。 活用状況（平成28年度） 小学校 1日平均 3.8時間 中学校 1日平均 3.4時間 ②中学校の定期テストにおけるリスニングテストで活用しています。 ③学校の掲示板にALTのコーナーを設け、外国の文化の紹介等を行うことによって、児童生徒の外国語に対する興味・関心を高めるのに役立っています。						
科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書

269P

事業名	【継続】 中学生海外訪問交流事業				
	財 源 内 訳				(単位：千円)
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
428万6				232万8	195万8
事業期間	平成6年度～			総事業費	

【事業目的】

中学3年生を対象とし、夏季休業中に香港を訪問します。現地で活躍する日本企業の視察、中学生との交流活動、現地ジオパークの見学を通して、国際的視野の拡大と国際親善に努める素地を培うとともに、将来の島原市を担う心身ともにたくましい人材の育成を目指します。

【事業概要】

事業主体 島原市
 交流国 中国（香港）
 対象学年 市内中学校3年生
 人 数 15名
 交流日数 4泊5日
 事業活動内容 ①キャリア教育の一環として現地で活躍する日本企業の視察及び意見交換
 ②香港ジオパーク見学及び現地学生との交流・意見交換
 ③日本人学校生徒との交流
 ④香港市内見学

財源内訳 ①参加者負担金 30,000円×15人＝ 450,000円
 ②国際交流事業補助金（長崎県市町振興協会より）1,878,000円
 ※見込み
 ①②合計 2,328,000円



（訪問交流の様子）



（訪問交流の様子）

科目	10 款	1 項	2 目	目 名 称	事務局費	学校教育課
事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】 不登校児童生徒適応指導事業				
当初予算額	財 源 内 訳				(単位：千円)
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
225万7					225万7
事業期間	平成8年度～			総事業費	

【事業目的】

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てます。

【事業概要】

〔要因・背景〕

「不安など情緒的混乱」「無気力」の割合が多いと言われていましたが、いずれの理由が主であるか決めがたい複合の割合が最近多く、要因・背景の複合化や多様化の傾向があります。そうした中、上記事業目的を持って設置している本市適応指導教室は、多様なニーズに対応できる機関の一つとしてその存在価値は大きいものになっています。

〔対策〕※平成28年10月現在の状況
島原市適応指導教室

【ひまわり教室】（本市事業）

- ・相談員：2名
- ・通級者：小学生0名、中学生5名
- ・仮通級者：小学生0名、中学生2名

1週間の生活(例)	
	月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日
9:30	通級時間
9:40	朝の活動
10:00	朝の会
10:50	ひまわり タイム 学習タイム
11:00	休み時間
11:50	学習タイム 自由タイム ひまわり 軽スポーツ タイム
13:00	昼食・昼休み
13:30	通室報告・読書タイム
14:30	軽スポーツ チャレンジ 登校 陶芸教室 ALT 茶道教室 チャレンジ 登校
15:30	清掃・帰りの会
	帰宅

科目	10 款	1 項	2 目	目名称	事務局費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書

277P

事業名	【継続】 幼児ことばの教室設置事業				
当初予算額	財 源 内 訳				(単位：千円)
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
91万3					91万3
事業期間	平成11年度～			総事業費	

【事業目的】

言葉に課題のある幼児に関する指導及び相談を行うことにより、課題の改善及び克服を図るとともに、心身の健やかな成長を目指します。

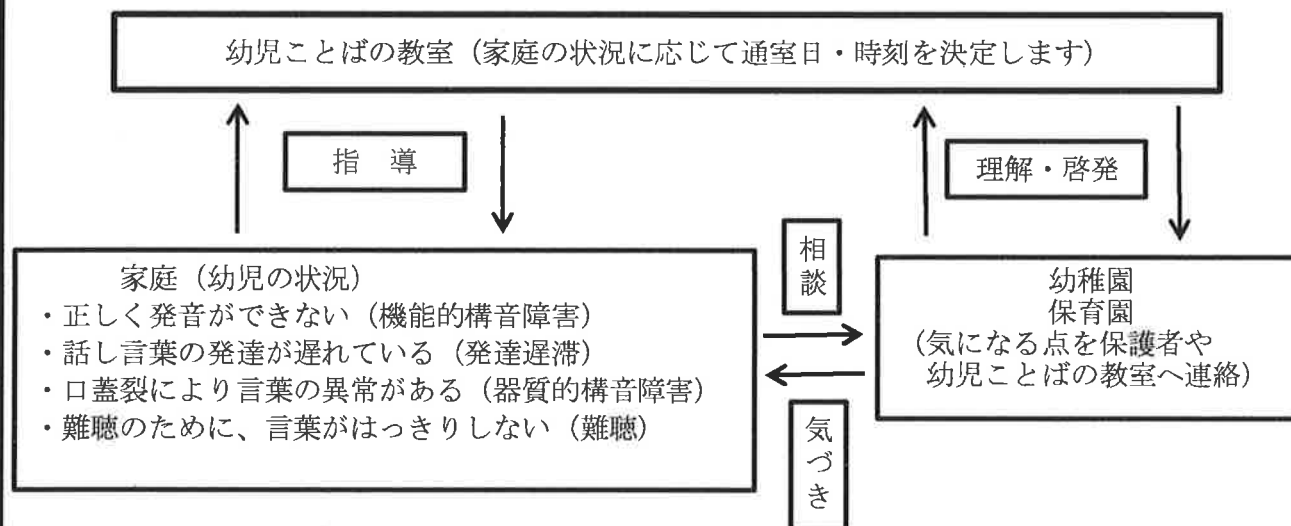
【事業概要】

設置場所 島原市萩が丘二丁目5688番地（第二小学校内）

開設日時 週4日（火曜～金曜）

勤務時間 1日4時間

活動内容 指導員1名配置し、下図のような連携を図りながら指導・相談を行います。



【成果】

	教育相談	入室児	退室児	継続児
平成26年度	24件	20名(継続2名)	9名	11名
平成27年度	26件	31名(継続11名)	24名	5名

科目	10款	2項	2目	目名称	教育振興費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書

277P・283P

事業名		【継続】 学校司書配置事業																						
当初予算額		財源内訳 (単位：千円)																						
		国費	県費	地方債	その他	一般財源																		
934万6						934万6																		
事業期間		平成16年度～			総事業費																			
【事業目的】 読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、創造力を豊かなものにするなど、人生をより豊かに生きていくうえで欠くことができないものです。 そこで、児童・生徒や教職員に適切な情報提供を行うことができる「学校司書」を配置することで、学校図書館環境の整備を図り、児童・生徒の読書活動を推進します。 【事業概要】 配置人数 14名（全小・中学校） 勤 務 週3日 （年間）123日程度 勤務時間 1日6時間 活動内容 ① 経営的活動 ・入室者数、貸出冊数、学習利用等の統計 ・図書ボランティアとの連携 ② 技術的活動 ・図書館資料の収集、分類、展示、修理・製本、点検及び廃棄、書架の管理 ③ 奉仕的活動 ・図書の貸出やレファレンスサービス、読みかたり、お話し会の実施 ・図書相談、学習資料の提供、広報活動 ④ 教育的活動 ・図書委員や図書館使用学級への援助 ・司書教諭や担任との連携 【成果】 図書貸出冊数（年間1人平均）の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>87.0冊</td> <td>98.1冊</td> <td>130.1冊</td> <td>160.7冊</td> <td>160.7冊</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>5.4冊</td> <td>7.9冊</td> <td>13.1冊</td> <td>16.4冊</td> <td>20.1冊</td> </tr> </tbody> </table>								平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	小学校	87.0冊	98.1冊	130.1冊	160.7冊	160.7冊	中学校	5.4冊	7.9冊	13.1冊	16.4冊	20.1冊
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度																			
小学校	87.0冊	98.1冊	130.1冊	160.7冊	160.7冊																			
中学校	5.4冊	7.9冊	13.1冊	16.4冊	20.1冊																			
科目	10款	2・3項	2目	目名称	教育振興費	学校教育課																		
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降																		
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定																		

事業名		【継続】 学習支援員配置事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源	
1,117万3			330万1		787万2	
事業期間		平成20年度～			総事業費	
【事業目的】 小・中学校において児童生徒の学力向上のために、学級担任及び教科担任等の補助として授業に入り、学習活動上のサポートを行います。 また、教育上特別の支援を必要とする障害のある児童生徒に対し、食事、排泄、教室の移動補助等、学校における日常生活動作の介助を行います。さらに、発達障害の児童生徒に対し、学習活動上のサポートを行ったりする「学習支援員」を配置し、障害等に応じた適切な教育を実施します。						
【事業概要】 配置人数 17名（全小・中学校） 勤 務 週5日 年間175日 勤務時間 1日5時間 活動内容 ①児童生徒の学習活動の補助 ②基本的生活習慣確立のための日常生活の介助 ③発達障害の児童生徒に対する学習支援 ④学習活動、教室間移動等における介助 ⑤児童生徒の健康・安全確保関係 ⑥運動会、学習発表会、校外活動等の学校行事における介助 ⑦周囲の児童生徒の理解促進 ⑧支援方法等の打ち合わせ ⑨その他校長が指示する事項						
【成果】 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果 小学校算数Aが、昨年度に引き続き全国平均を超えました。 小学校 国語A・算数Bは、全国平均になりました。 国語、算数・数学の8項目中7項目が全国平均との差を縮めることができました。 (数値は、島原市平均－全国平均) H27年度 小学校 (国語A－1 国語B－2 算数A±0 算数B－3) 中学校 (国語A－3 国語B－3 数学A－3 数学B－6) H28年度 小学校 (国語A±0 国語B－1 算数A＋2 算数B±0) 中学校 (国語A－2 国語B－3 数学A－2 数学B－5) 縮めたポイント 小学校 (国語A＋1 国語B＋1 算数A＋2 算数B＋3) 中学校 (国語A＋1 国語B±0 数学A＋1 数学B＋1)						
科目	10款	2・3項	2目	目名称	教育振興費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】 小・中学校 I C T 推進事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
743万8				730万0	13万8
事業期間	平成28年度～			総事業費	3億2,000万0

【事業目的】

小中学校の校務用パソコン及び教室用パソコン約450台の約95%を平成21年度に購入しており、耐用年数の5年を経過し故障が多くなっています。教職員の校務の効率化を図るため、特に教職員用の250台を年次計画で入れ替えを行います。

また、文部科学省から出された『教育の情報化ビジョン』の中において、21世紀を生きる子どもたちに求められる力を育む教育を行うためには、教科指導における情報通信技術（I C T）の活用を通して教育の質の向上を目指すこととされていることから、学校からの要望が高い実物投映機を全学級分配備し、既に配備されている大型デジタルテレビとの活用ができるよう整備を行い、I C T活用教育の推進を図ります。

なお、タブレット及び電子黒板は、次回のパソコン教室の更新時に検討を行います。

【事業概要】

教職員用パソコン入替（5年計画）

小学校150台、中学校100台を5年計画で入替

平成29年度購入分
110千円（税別）×50台

実物投映機の配備（2年計画）

実物投映機を28、29年度で小・中全学級数分（小学校10台、中学校36台）を配備

平成29年度購入分
66千円（税別）×21台

【特定財源】

○ 教育文化振興基金 7,300千円



科目	10 款	2・3 項	2 目	目 名 称	教育振興費	教育総務課
事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
	パソコン教室（H23～H25） 実物投映機配備 （H28：25台）			教師用パソコン更新 実物投映機配備（普通教室）		教師用・教室用パソコン及び パソコン教室用の更新、タブ レット・電子黒板の検討

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書

279P

事業名	【継続】 非構造部材耐震化事業				
	財源内訳 (単位:千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
7,163万2	2,059万0		3,590万0		1,514万2
事業期間				総事業費	

【事業目的】
未整備の学校校舎非構造部材(外壁)の改修を行い、防災機能を強化し教育環境の改善を図ります。

【事業概要】
緊急性の高い三会小学校旧校舎（築52年経過）の外壁改修工事及び屋上・ベランダの防水工事を実施します。

(特定財源) (単位:千円)

・ 国交付金	20,590
(対象事業費の3分の1補助)	
・ 地方債	35,900
合 計	56,490



科目	10 款	2 項	3 目	目名称	学校整備費	教育総務課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	非構造物耐震化の設計（校舎） 三会小（2棟）			非構造物耐震化の工事 （旧校舎）		個別施設計画により緊急性 の高い施設から順次実施
	非構造物耐震化の工事（新校舎） 三会小（1棟）					

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書
279P・285P

事業名	【継続】 小・中学校就学援助事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,672万9	14万3				4,658万6
事業期間				総事業費	

【事業目的】

小学校及び中学校に在学する児童生徒の学用品費や給食費などについて、経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助制度により支援を行うことで、健康で学びに専念できる環境(学校、家庭)を充実させ、将来を担う子どもたちの健全な「人づくり」を目指します。

【事業概要】

援助の内容と積算明細

区 分	費 目	単価(円)	人数	金額(千円)	
小学校	学用品費	1年	11,420	64	731
	学用品費	2-6年	13,650	276	3,768
	学用品費(新入学品費)	1年	40,600	64	2,598
	社会科見学活動費	4年	2,400	54	130
	修学旅行費	6年	21,490	54	1,161
	校外活動費	5年	3,328	50	167
	医療費		5,675	204	1,158
	学校給食費		230	340	15,171
	通学費		60,000	1	60
小学校 計				24,944	
中学校	学用品費	1年	22,320	53	1,183
	学用品費	2-3年	24,550	137	3,364
	学用品費(新入学品費)	1年	47,400	53	2,512
	修学旅行費	2年	57,590	70	4,032
	校外活動費	1年	2,924	53	155
	医療費		6,068	105	638
	学校給食費		270	190	9,901
	中学校 計				21,785
全体 合計				46,729	

※学校給食費については、食数により算定

認定者数及び認定率の推移

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
認定者数 (年度末)	小学校	337 人	300 人	310 人	315 人
	中学校	264 人	257 人	208 人	207 人
	合計	601 人	557 人	518 人	518 人
認定率 (年度末)	小学校	13.74%	12.76%	13.25%	13.85%
	中学校	18.88%	18.21%	16.15%	16.18%
	合計	15.61%	14.81%	14.28%	14.69%

(H28.10末現在)

科 目	10 款	2・3 項	2 目	目 名 称	教育振興費	教育総務課
事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】 小・中学校施設整備事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,760万0					6,760万0
事業期間				総事業費	

【事業目的】

学校は、児童生徒が一日の大半を過ごす教育施設であり、学校教育を進める上で安全上、保健衛生上、指導上その他の学校教育の場として適切な環境を確保します。

【事業概要】

学校施設の営繕・管理について、各小中学校において、現場の調査確認を行い危険性・緊急性・必要性等を考慮し修繕・工事を実施します。

《修繕・工事の内訳》

○小学校	(単位:千円)	○中学校	(単位:千円)
・ 修繕料	7,000	・ 修繕料	4,100
・ 工事請負費	24,500	・ 工事請負費	32,000
合 計	31,500	合 計	36,100

《主な工事の概要》

	工事名称	工事概要
小 学 校	第一小学校旧校舎音楽室カーペット張替工事及びベランダ出入口サッシ取替	経年劣化による破損が激しい音楽室のカーペット張替工事及び開閉・施錠が困難なベランダ出入口サッシの交換
	第二小学校体育館床補修及びプールフェンス取替工事	経年劣化による破損が激しい体育館の床張替及びプールのフェンス更新
	第五小学校第一校舎各教室天井改修工事及び棚修繕工事	地震による天井材落下を防止するための教室・廊下の天井改修工事及び老朽化した教室廊下側の棚の修繕
中 学 校	第二中学校職員室棟屋上防水改修工事及びテニス支柱更新工事	老朽化により雨漏りが発生している職員室棟の屋上防水工事及び破損の激しいテニス場ネット支柱の更新
	第三中学校放送設備取替工事及び職員室空調設備更新	放送に支障をきたしている既存設備の更新及び故障により稼働していない職員室エアコン2台の更新
	有明中学校職員室雨漏り修繕工事及び高架水槽設置工事	職員室の雨漏り防止のための部分外壁防水改修工事及び鉄筋コンクリート造の既存水槽の撤去、FRP水槽の設置

科目	10 款	2・3 項	3 目	目名称	学校整備費	教育総務課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	施設整備を計画的に実施			施設整備を計画的に実施		引き続き計画的に実施

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書

283P

事業名		【継続】 心の教室相談員配置事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	
364万5					364万5	
事業期間		平成10年度～			総事業費	
【事業目的】 中学校において、生徒が悩み等を気軽に話し、ストレスを和らげることのできる第三者を生徒の身近に配置し、生徒が心のゆとりを持てるような環境を提供するため、全中学校に「心の教室相談員」を配置し、生徒や保護者の悩みや不安を聞くなどの相談活動を実施します。 【事業概要】 配置人数 5名（全中学校に各1名） 勤務時間 3校 週4日 1日5時間（第一・第二・有明中学校） 2校 週2日 1日4時間（第三・三会中学校） 活動内容 ①生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行います。 また、生徒のみならず、保護者との関わりを含めた相談活動の実践に努めます。 不登校ぎみの生徒については、特に電話等を活用した家庭との連携を密にした相談活動を目指します。 ②地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行います。 ③その他、学校の教育活動の支援を行います。 成果 より多くの子どもたちの悩みに対応できたかどうかは、重要な相談員としての成果指標です。そのため、相談数を成果の目標としてあげています。 〔相談件数〕・・・476件（H28年7月末現在） 〔内 容〕・・・いじめ、不登校、友人関係、異性関係、家族問題、健康、子育て、非行、学習・進路、教師との関係等です。						
科目	10 款	3 項	2 目	目 名 称	教育振興費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】 島原市自主文化事業					
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)					
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
627万6				627万0	6	
事業期間				総事業費		
【事業目的】 市民に芸術性の高い優れた舞台芸術に接する機会を提供し、市民文化の向上と地域活性化に繋げる目的で行います。						
【事業概要】 昨年度は、主催公演2本・公募型事業2本にて公演を実施。平成29年度も主催公演2本・公募型事業2本を実施いたします。 また、「肥前島原子ども狂言」についても引き続き実施します。						
平成29年度 島原市自主文化事業【実施予定】						
(名称)	(開催時期)	(会場)	(備考)			
草野仁トークショー	平成29年11月下旬予定	島原文化会館				
未来の音楽授業！アキラ塾	平成30年3月予定	有明総合文化会館				
「公募型」自主事業	年2本程度	文化会館など	市民や民間からアイデアを募集			
肥前島原子ども狂言	5月～2月	島原文化会館				
自主文化事業	●舞台芸術鑑賞事業 公演等、優れた芸術鑑賞の実施 ●「公募型」事業 市民や民間からのアイデアを募集 ●体験型事業 肥前島原子ども狂言の実施			地域文化活性化		
科目	10款	4項	1目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	○従来型での公演 ⇒ 2本 ○公募型での自主事業 ⇒ 2本程度 ○通年の肥前島原子ども狂言			○従来型での公演 ⇒ 2本 ○公募型での自主事業 ⇒ 2本程度 ○通年の肥前島原子ども狂言		引き続き継続予定

事業名	【継続】 島原藩主深溝松平家墓所調査事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地方債	その他	一般財源
1,301万6	650万8	65万0			585万8
事業期間	平成27年度～平成30年度 (複数年事業)			総事業費	3,965万9

【事業目的】

本光寺に所在する島原藩主深溝松平家墓所の国の史跡指定にあたって必要となる本光寺境内及び墓所の測量と本光寺所蔵資料の調査を行います。調査にあたっては、石造物等の研究者や専門家による調査指導委員会を設置し、指導・助言を得ながら調査を実施します。

【事業概要】

平成26年1月に文化庁主任調査官が本市本光寺の松平家墓所を現地視察され、「幸田町の松平家墓所が平成25年11月に国の史跡に答申(告示は平成26年3月)されています。これに追加する形で島原の松平家墓所も国の史跡に指定することができます。指定範囲として、墓所のほか本光寺の境内全体を含めた指定を考えていますが、指定にあたっては、境内の詳細な地形測量図と墓碑の実測図を作成し、本光寺が所蔵する古文書、絵図等文献資料(平成2年～5年に資料調査済)の追加調査が必要です。また、調査等にあたっては、古建築、石造物、文書等の専門家による調査指導委員会を設置して行うべき。」との指導があったことにより国の史跡指定を目指して調査を行います。

平成27年度は墓碑等の数量把握と地形測量を行いました。平成28年度は墓碑や十六羅漢像の立面実測を行い、調査指導委員会を開催しました。

平成29年度は家老墓碑等の立面実測、文献調査を行い、調査指導委員会を開催します。

H27

- ・本光寺境内地形測量 36,000㎡
- ・一ノ御廟～四ノ御廟、家臣墓所、十六羅漢 平面測量 合計 3,135㎡

H28

- ・調査指導委員会
専門委員 4名 建築・古文書・石造物・調度の専門家
委員 3名 市文化財保護審議会議長
松平文庫学芸員
本光寺護持会
- 助言者 2名 文化庁主任調査官
長崎県学芸文化課担当者
- ・松平家墓碑：37基 十六羅漢石像：17基 立面実測
- ・文献調査

H29

- ・調査指導委員会
- ・家老墓碑：38基 石造物：10基 立面実測
- ・文献調査

H30

- ・調査及び測量報告書作成



島原藩主松平家墓所墓碑等実測業務対象範囲図

科目	10 款	4 項	1 目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・本光寺境内及び松平家墓所の測量 ・本光寺所蔵資料の調査			・調査指導委員会開催 ・墓碑及び玉垣の実測 ・本光寺所蔵資料の調査		・調査指導委員会開催 ・墓碑及び玉垣の実測 ・本光寺所蔵資料の調査 ・調査報告書刊行

事業名	【新規】				
	島原城跡整備事業				
当初予算額	財 源 内 訳				(単位：千円)
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,600万0			2,600万0		
事業期間	平成29年度～平成30年度 (複数年事業)			総事業費	7,300万0

【事業目的】

島原城の大手門枡形の一部について、発掘調査で得られた情報を元に遺構の復元整備を行い、島原城の当時の姿を復元し、歴史文化及び観光の推進を図ります。

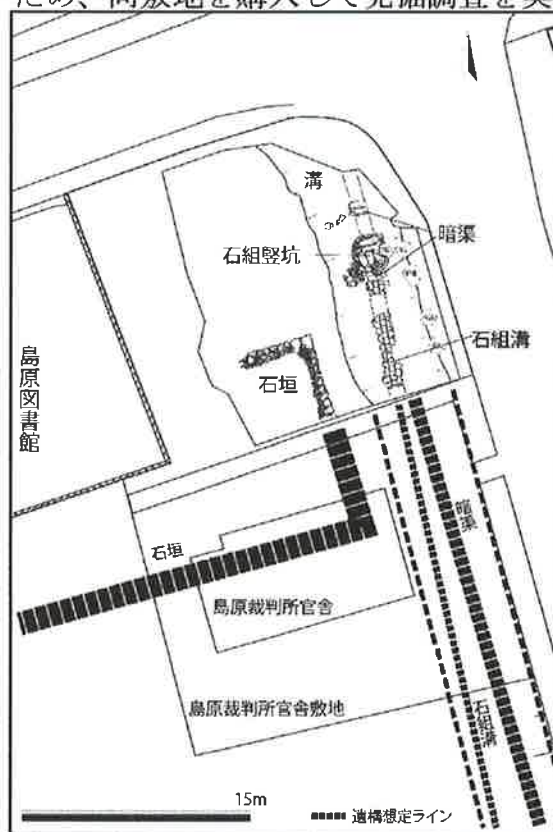
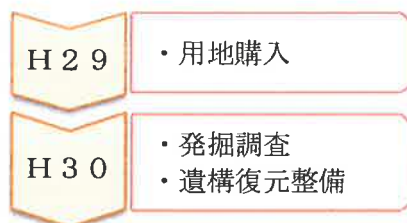
【事業概要】

島原拘置支所職員宿舍敷地の発掘調査で、堀水排水の溝、暗渠、石組竪坑、石組溝が確認されました。県内では、城郭の堀水を排水する遺構は確認されておらず、全国でも数少ない事例です。また、絵図に記録されている大手枡形北端の石垣の根石も確認されています。

島原拘置支所職員宿舍敷地は、現在、用地交換の手続きを行っています。

島原拘置支所職員宿舍敷地の南に隣接する、長崎地方裁判所島原支部官舎敷地についても、同様の遺構が存在している可能性が極めて高いため、同敷地を購入して発掘調査を実施し、遺構の存在する位置を確認します。

用地購入後に、島原拘置支所職員宿舍敷地と長崎地方裁判所島原支部官舎敷地について、平成30年度に発掘調査を行い、発掘調査で得られた情報を元に遺構の復元整備を行います。



島原城大手門跡周辺遺構配置図及び想定

科目	10 款	4 項	1 目	目 名 称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
	H26	島原拘置支所職員宿舍敷地発掘調査		・長崎地方裁判所島原支部官舎敷地の購入		・発掘調査の実施 ・遺構の復元整備
	H26～H28	島原拘置支所職員宿舍敷地と島原図書館駐車場の交換協議				
	H27	長崎地方裁判所島原支部官舎敷地の購入要望				

事業名	【継続】 放課後子ども教室推進事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
326万6		169万1			157万5
事業期間	平成20年度～			総事業費	

【事業目的】

- 子どもの居場所を確保し、安全で安心して子育てができる環境づくりに寄与し、自主学習習慣の育成、地域人材との交流を図るため、夏休みに全地区公民館で「スクールキッズ」を、放課後に学校の施設を利用し全小・中学校で「放課後子ども学習室」を実施します。

【事業概要】

スクールキッズ

希望する小学生を集め、静かな環境で自学の習慣をつける訓練をします。

期間：夏休みの第2週の4日間の午前中
(H26：2公民館、H27：4公民館、H28：7公民館)

【スタッフ】各公民館配置

- ・退職校長会2名（質問部屋配置）
- ・公募の見守指導員1名（自習部屋配置）

放課後子ども学習室

放課後1時間に学校の空き教室を開放し、宿題等の指導を行います。

[H26：1校（小学校）、H27：10校（9小学校、1中学校）、H28：14校（9小学校、5中学校）]

【スタッフ】

見守学習支援員を各校1名以上配置

【効 果】

学力向上、自主学習習慣定着、子どもの居場所づくり、少子化対策



科 目	10 款	4 項	1 目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度			今年度		来 年 度 以 降
	スクールキッズ 7 地区公民館			スクールキッズ 7 地区公民館		引き続き継続予定
	放課後子ども学習室 9 小学校、5 中学校			放課後子ども学習室 9 小学校、5 中学校		

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書

317P

事業名	【継続】				
	小学校フッ化物洗口推進事業				
当初予算額	財 源 内 訳				(単位：千円)
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
54万9		27万4			27万5
事業期間	平成27年度～			総事業費	

【事業目的】

島原市は、むし歯を持つ子どもとそうでない子どもの二極化がみられ、子どもの年齢が上がるにつれてむし歯の本数が増える現状にあります。また、12歳児の一人当たりのむし歯の本数は長崎県内でも高い順位であることから、家庭などの環境に関わらず、子どものむし歯予防が実践できる集団によるフッ化物洗口を小学校で導入し、むし歯予防を定着させ、市内の子どものむし歯の低減を図ることを目的とします。

【事業概要】

実施対象	小学校1～6年生の希望者 (平成29年度の実施予定校は、全小学校の9校。9校の全児童が希望した場合、約2300名)
実施方法	フッ化物洗口液10mLで、1分間「ぶくぶくうがい」をします。 使用薬剤…ミラノール顆粒11%
実施日時	週1回(年間42週)
必要物	・薬剤(ミラノール) ・紙コップ ・プッシュボトル ・カゴ
費用	<u>薬剤</u> 1人分(1回)のフッ化物洗口水溶液 0.1包(10ml) 全体での必要数(1回分) 0.1包×2300人=230包 1包の値段 約35円 1回にかかる費用 35円×230包=8,050円 1年間にかかる費用 8,050円×42週=338,100円 <u>紙コップ</u> 年間で使用するコップ数 2,300個×42週=96,600個 年間でかかる費用 1.5円×96,600個=144,900円 <u>プッシュボトル</u> 年間でかかる費用 450円×100個=45,000円 <u>カゴ</u> 必要数 100学級×1個=100個 年間でかかる費用 200円×100個=20,000円 消耗品費210千円+薬剤費339千円=549,000円

科目	10 款	5 項	1 目	目 名 称	保健体育総務費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	一小・三小・湯江小の3校			全小学校		引き続き実施予定

事業名	【継続】				
	平成新山 島原学生駅伝				
当初予算額	財 源 内 訳				(単位：千円)
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,900万0					1,900万0
事業期間	平成10年度～			総事業費	

【事業目的】

駅伝大会を島原市で開催することにより、この大会を冬の一大スポーツイベントとして定着させ、平成新山を冠する大会として、選手たちの力強い走り、島原半島ジオパークはもとより、島原の魅力・情報を発信することで交流人口の拡大と地域の活性化に努めます。

【事業概要】

《経緯》 平成10年度に、1市16町が協力して、「島原・雲仙学生駅伝」として第1回目を開催し、平成20年度からは、島原市1市での開催となり、島原市内一円コースを設定し、男女ともにロードレースとして開催しています。男子は平成28年度で19回を数え、女子は平成17年度から開催しており、平成28年度で12回を数えます。

《主体》 平成新山 島原学生駅伝大会 実行委員会

※構成団体は以下のとおり。()内は主な役割。

- ①九州学生陸上競技連盟（大会・選手運営及びエントリー関係・式典催事）
- ②島原市（会場及びコース管理・大会運営）
- ③長崎陸上競技協会、島原市陸上競技協会（競技運営）
- ④長崎国際テレビ（報道関係・大会広報）

《期間》 開 始：平成10年度～（女子：平成17年度～）

期 日：12月 第1土曜日（H10、H11、H25、H26 除く）

《内容》

- ・九州学生駅伝対校選手権大会 7区間 57.80キロ（島原市内コース）
- ・九州学生女子駅伝対校選手権大会 5区間 22.85キロ（島原市内コース）



科目	10 款	5 項	2 目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		上記事業を実施予定

事業名		【継続】 ジュニアスポーツ振興事業			
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)			
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源
150万1					150万1
事業期間		平成27年度～			総事業費
【事業目的】 本市のジュニアスポーツの充実を図るため、トップレベルの指導者や選手がいる大学との協定に基づき、小中学生を大学に派遣し、講義や実技指導を受けることにより、児童生徒の意識の高揚を図り、さらなるスポーツの振興や競技力の向上に努めます。					
【事業概要】 日本体育大学と協定を結び、相互の施設の利用や指導者の派遣等の交流事業を行います。					
【例】 ・オリンピックの意義・歴史の学習（オリ・パラ教育） ・近代的な施設による体験学習（意識の高揚） ・有名な選手や指導者からの実技学習（技術力の向上） ・学生との交流による社会学習（意識の高揚） ・専門教授の招聘事業講演（指導者向け、児童・生徒向け講演等）					
リーダーシップ 競技力向上 社会人基礎力の醸成 協調性 スポーツの振興					
 					
科目	10 款	5 項	2 目	目名称	スポーツ振興費
事業計画	前年度まで			今年度	
	小中学生を日本体育大学へ受け入れてもらい体験学習を行う。 ・指導者の招聘事業			小中学生を日本体育大学へ受け入れてもらい体験学習を行う。 ・指導者の招聘事業	
				来年度以降	
			小中学生を日本体育大学へ受け入れてもらい体験学習を行う。 ・指導者の招聘事業		

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書

321P

事業名	【継続】				
	J F A こころのプロジェクト「夢の教室」				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
297万5					297万5
事業期間	平成26年度～			総事業費	

【事業目的】

スポーツ選手とそのOB・OGが、夢を持つことの素晴らしさや夢に向かって努力することの大切さなどを子どもたちと語り合う「夢の教室」を開催することで、子どもの情操教育の充実を図ります。

【事業概要】

「夢の教室」公演事業

主 催 島原市、公益財団法人日本サッカー協会

対 象 島原市内全小学校第5学年

小学校の正規の授業2時間（90分間）を利用して行います。

【前半】ゲームの時間（35分）

体育館で体を動かしながら、グループで一つの目的を達成するゲームや競争を通じて、目的のために協力すること、相手を思いやること、フェアプレー精神を、実技の中で気付いてもらう時間です。

- ①自己紹介（5分）
- ②ウォーミングアップ（5分）
- ③サブゲーム（10分）
- ④メインゲーム&まとめ（15分）

※夢先生の専門競技をするわけではありません。



【後半】トークの時間（55分）

夢先生の体験談をもとに、児童とともに夢について語り合う時間です。

- ①夢先生の夢トーク（35分）
- ②みんなの夢（15分）
- ③エンディング（5分）



科目	10 款	5 項	2 目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	市内小学校第5学年 全クラス実施			市内小学校第5学年 全クラス実施		市内小学校第5学年 全クラス実施予定